

「柁城小学校の加治木くも合戦伝承活動の取組」

1 学校名

始良市立柁城小学校

2 学年・人数

全学年・432人

3 日時・場所

- (1) 「柁城ふるさと学習」におけるくも合戦保存会の講話・実演の場所・期日
柁城小学校体育館（くも合戦が行われる6月の第2土曜授業）
- (2) 第3学年の「くも合戦」体験活動の場所・期日
柁城小学校第3学年1組・2組教室（6月）

4 伝承・活用に取り組んでいる郷土芸能、伝統行事や史跡について

(1) 名称

加治木くも合戦

(2) 由来

平成31年に生誕400年を迎える加治木島津家の当主であった島津義弘公が文禄・慶長の役（1592年～1598年）に参戦していた際、その陣中で兵士たちを奮い立たせるために、雌のコガネグモを集めて戦わせたことが始まりと言われている。

現在は、平成3年8月に設立された「くも合戦保存会」の主催で、毎年6月第3日曜日に加治木町で開催され、国内外から取材が訪れる始良市の大きな伝統行事になっている。

(3) 構成等

「くも合戦」は、3つの部門で構成されている。

ア 優良ぐもの部

くもの色艶、姿形の美しさ、八頭身のスタイル等を、袴を着た審査員が審査する。

イ 合戦の部

一人3匹のくも(雌)を用意し本大会に臨むことができる。長さ60cmの「ヒモシ」と呼ばれる横棒の両端にそれぞれくもを置き、3回戦わせることができる。3匹の勝ち数の合計で順位が決まる。

ウ 王将戦の部

合戦の部で3連勝したくもだけが出場することができる。トーナメント方式でその年のチャンピオンぐもを決める。

5 保存会や地域との連携の具体

「柁城ふるさと学習」では、「加治木くも合戦保存会」会長を講師として招聘し、全学年の児童に加治木くも合戦の歴史や伝統・ルール、くもの生態等について話をさせていただいている。

「くも合戦体験学習」は、第3学年の郷土教育として、保存会の方々を講師として招聘し、実際に授業の中で、「くも合戦」の体験をさせていただいている。

本番の「くも合戦」に参加する児童は、地域の方々に案内していただき、大隅半島まで出向き、くもを捕獲している。

6 文化財伝承・活用の取組の工夫した点

全学年を通した「柁城ふるさと学習」で全児童・全職員に「くも合戦」について、毎年学ぶように教育課程を工夫している。新1年生や転入学児童にも、「くも合戦」の歴史と伝統を受け継ぐよい機会になっている。

第3学年には実際に「くも合戦」を体育館内で疑似体験させることで、本番への興味・関心を高めさせるようにしている。

さらに、「くも合戦」当日に表彰式が行われる「くも合戦書道コンクール」や「絵画コンクール」にも全学年で取り組み、本年度も、数多くの児童が入賞し、「くも合戦」当日に表彰された。

7 取組の様子

－「柁城ふるさと学習」（全学年）や「くも合戦体験」（第3学年）の様子から－



「柁城ふるさと学習」



実際のくもとの出会い



合戦中の見学



勝敗が決まった瞬間の見学

8 参加者児童生徒・保護者・保存会・教職員等の感想・意見

【参加した児童の感想】

- 保存会の方に質問をしたり、くもにえさをやったりした後に、「くも合戦」をしました。トーナメントを書いて試合を始めました。試合をして私たちのグループがずっと勝って最後まで残りました。校長先生としたら、勝ってとてもうれしかったです。
- ぼくは「くも合戦」が大好きなので、必死に応援しました。負けてしまって残念だったけれどまた「くも合戦」を近くで見たいです。
- くもをみんなで選んで戦わせたら、ずっと一等賞でした。その時、私たちは飛び跳ねるくらいうれしかったです。
- 私が一番楽しかった思い出は、チームを作ってそのチームのくもとくもを戦わせるゲームでした。負けてくやしかったけれど、近くで見ることができてとても楽しかったです。

【教職員の感想・意見】

- 伝統的な「くも合戦」について、保存会の方々に実際にくもを使ってお話していただき、子どもたちはとても喜んでいました。これからも大切なこの伝統行事を受け継いでいける子どもに育てていきたいです。